

「日本海側の発展をリードする 元気な地方都市」をめざして

2月18日、出雲市議会定例会が開会し、長岡市長が平成31年度の施政方針を表明しました。その主な内容を紹介します。

I. 所信

平成の時代が幕を閉じ、5月1日から新たな元号となります。「平成の大成」により誕生した本市は、それぞれの地域が大同団結することで着実な発展を遂げるとともに、出雲大社の平成の大遷宮を契機とした交流人口の拡大により、「出雲」のブランドは全国に広く知れ渡り、今や世界へ展開しようとしています。

また、多様なポテンシャルを生かした産業振興や雇用の創出、定住の促進を図ることで、総合振興計画「出雲未来図」の目標である人口17万人台を維持しつつ、中海・宍道湖・大山圏域市長会をはじめとした自治体間の連携も深めながら、山陰の経済、文化をリードする元気な地方都市の実現に向けて力を注いでまいりました。

新年度は、東京オリンピック・パラリンピックを間近に控え、国をあげて海外

へと門戸を広げ、インバウンドの推進や日本文化を世界に発信する「日本博」の開催など、世界との交流が活発化していくことが予測されます。

本市においても、こうした動きに呼応した交流や連携の枠を広げていくことで、『日本海側の発展をリードする元気な地方都市』をめざしてまいります。

II. 市政運営のポイント

新年度においては、現在、我々が直面している少子高齢化と、これに伴う人口減少問題に、次に掲げる4つのポイントを核とした施策を展開し、果敢に立ち向かいます。

県内8市で唯一人口規模を維持している本市の取組を「出雲モデル」として確立し、世界中の誰もが知っている、行ってみたくなる、そして住みたくなるまち「出雲」をめざしてまいります。

一、「ポスト遷宮、2020年に向けた 交流人口のさらなる拡大」

東京オリンピック・パラリンピックの開催まで1年あまりとなる中で、日本への注目度は格段に高まり、外国人観光客

の増加には目を見張るものがあります。ターゲット国を絞った、より戦略的な「IZUMO」の情報発信、誘客策の展開、国際チャーター便の誘致を図ってまいります。

また、外国人観光客の国内移動や地方都市間における経済、文化交流を促進するため、出雲縁結び空港と地方空港をつなぐ新規路線就航も働きかけてまいります。

一方、交流拡大の基盤となる山陰自動車道整備や、新幹線の整備計画路線への格上げなどについても、関係自治体とともに一層の取組を進めてまいります。

二、「若者が夢を描ける 多様な雇用の実現」

市内企業の労働力確保に向けた取組や、事業承継・創業を支援するとともに、企業の魅力発信や新工業団地の整備を図ります。また、さまざまな分野、特に世界に通用するオンリーワンの技術を持った企業を誘致することで、若者をはじめ働く意欲を持つ全世代が多様な選択ができる雇用環境の創出をめざしてまいります。

さらに、新たな移住支援事業により

東京圏からの移住者と市内企業のマッチングを促進してまいります。

三、「本格化する多文化共生社会に 対応する施策の展開」

多くの外国人住民を受け入れ、多文化共生社会の実現に先行して取り組んできた本市への注目度は高まっています。

単なる労働力としてではなく、市民として定住し、まちづくりの担い手となつていただくため、日本語教育、地域との交流、生活支援などにきめ細やかに対応してまいります。また、将来的な就農をめざし、モデル農園の設置など農業に携わる機会を提供してまいります。

四、「安心して生み、子育てができる まちづくりの推進」

本市が将来にわたって発展していくうえで、出生数の減少は大きな課題です。まち・ひと・しごと創生総合戦略において掲げる「出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる」ことができるよう、新たに子ども医療費助成制度などを創設し、安心して子育てができる環境の充

実を図ります。また、本年10月からの幼児教育・保育の無償化に向け、体制を整えてまいります。

以下、「出雲未来図」に掲げる4つの戦略プロジェクトに沿って、主要施策・主要事業を説明します。

Ⅲ. 主要施策・主要事業

1. 雇用創出2,500人プロジェクト

(1) 商工業

○地元企業への支援

- ・出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議と連携し、事業者の取組を支援

○人材確保対策

- ・地元への就職を促進するため、県外進学者に直接アプローチする取組を強化
- ・次世代を担う子どもたちに、出雲の産業の魅力や地元企業を知ってもらうための機会を創出
- ・高齢者の就業機会が得られるよう、新たな取組を推進

○新商品等開発・販路拡大

- ・産学官金の連携機会を創出し、新商品等開発のためのマッチングを支援
- ・首都圏等での「出雲フェア」の開催

○事業承継の円滑化や創業の促進

- ・相談体制の強化、研修会の開催

○商店街の再生・活性化

- ・空き店舗を活用した開業支援
- ・中心商店街等の賑わい創出を支援

○企業誘致

- ・新たな工業団地の早期整備を推進
- ・多様な業種の立地を図り、若者に対

して魅力ある雇用を創出

(2) 農林水産業

○高収益化、

経営体質の強化等への取組

- ・需要に応じた米生産の定着に向けた取組を支援
- ・米以外の品目のブランド化・有利販売を支援
- ・畜産の飼養技術の向上、コスト削減、品質向上等、経営体質の強化
- ・AI、IoTなど先端技術を活用したスマート農業の普及に向けた実証を本格化

- ・出雲農業未来の懸け橋事業による産地の維持拡大への取組

○新出雲農業チャレンジ事業

- ・中山間地域の農業支援
- ・地域の課題解決に向けた提案による事業展開、新品目の生産等を支援

○担い手対策

- ・農地中間管理事業等を活用し、農地集積を促進し、集落営農の広域連携や法人化を支援

○新規就農者支援

- ・就農初期の負担軽減
- ・アグリビジネススクールでの実践研修
- ・果樹リース団地整備の検討

○農業基盤整備

- ・宍道湖西岸地区における国営の農地再編整備事業の促進
- ・農業用施設の長寿命化、防災減災対策

○林業の振興・森林資源の適正管理

- ・作業道整備や利用間伐、松枯れ対策事業等

- ・「新たな森林管理システム」の構築
- ・市内産木材の生産拡大と再造林を支援

○野生鳥獣の被害対策

- ・防護ネットや電気牧柵等の設置助成を拡充

○水産業の振興

- ・出雲の海応援隊事業等により地産地消や、出雲の海の魅力を発信
- ・長寿命化計画に基づき、市管理漁港の保全工事を推進

2. 定住人口キープ17万人プロジェクト

○定住促進

- ・出雲大好き！ターン女性支援事業、移住・定住促進住まいづくり助成事業より、若い世代、子育て世代の移住を促進
- ・県外でのUターンフェア等で出雲暮らしの魅力を発信

○空き家対策

- ・空き家対策に一元的に対応するため「空き家対策室」を新設

○未婚化・晩婚化対策

- ・「島根はっぴいこーでいねーたー」との連携を強化
- ・婚活支援セミナー等の開催
- ・「いずも縁結び女子navi」により、結婚意識を高めるサポートを実施

○縁結びをテーマにした

シティセールス

- ・ホームページ「いずもな暮らし」の充実
- ・「八岐大蛇」を表現した出雲ナンバー交付開始に向けたPR

3. 交流人口1,200万人プロジェクト

- コミュニティ活動の推進
- ・「元氣！やる気！地域応援補助制度」の活用
- ・「うみ・やま（中山間地域）応援センター」の体制を強化
- ・コミュニティセンターの耐震化

○ふるさと応援寄附

- ・お礼の特産品の拡充・寄附サイトの充実、PR強化

○ポスト大遷宮の情報発信

- ・日本遺産・ジオパーク・国立公園満喫プロジェクトを推進するため、日御碕ビジターセンター開設等、受入れ体制の充実
- ・国立公園内の景観改善を図るための計画策定

○滞在型観光への取組

- ・滞在型ワークショップや灯台のライトアップイベントなど滞在時間の延長による宿泊の促進

